

テーマ

『広めよう地域教育協議会』

目標

育てよう地域の宝の子 育てよう地域を愛する子どもたちに

今年度の取組紹介

《マスコットキャラクターづくり》

本協議会を広く認知していただく為に地域と校区内5校園が連携し、「京チュン」の誕生となりました。

《歴史散歩マップ制作》

「育てよう地域を愛する子供たちに」のテーマに基づき世界遺産に近接するこの地で校区内の史跡を紹介し、より広く、深く、身近に歴史的環境を感じてもらえれば！と、史跡を掲載した校区マップの作成に取り組みました。

《第2回京中に集まれ!!「守ろう命 つなごう絆」》

8月3日（土）におよそ200名の参加で開催されました。東北大震災での体験の講演では地域の絆の大切さを学び、作成した史跡マップからは〇×クイズを行い、地域の歴史を学びました。また、炊き出しの実演では多くのボランティアの方々で作って頂いた豚汁をいただきました。



今年度のまとめ

「第2回京中に集まれ!!」の取組の成果は組織改編の成果であるといっても過言ではないと思われます。内容に関して学校・地域が一体となって2つの小学校区の地域性の違いはなくなり、たくさんの絆が生まれていました。もちろんコーディネーター同士の結束力も高まり充実感を得られたことも大きな成果です。

京西中学校家庭科部の生徒たちがマスコットキャラクターの「京チュン」を5体制作してくれました。5校園のもとに旅立ち成長を見守ります。きっと可愛がってもらえることでしょう。

来年度に向けて

「交流のつどい」や「先進校視察」で伺った学校ではたくさんの刺激を受けました。

「地域の子どもたちを地域で育てていく」この協議会の役割が確実に根を張っていると感じておりますがこの反面、学習支援を前提とした子どもたちへの関わり方、またボランティアの確保や広報活動に取り組んでいきたいと思っております。各学校園の年間行事予定に基づきコーディネーターのサポートが必要な場面ではお手伝いを実践していきます。中学校では地域の方々がゲストティーチャーとして公開授業を行う「京中オープンスクール」が学校主体で行われていた行事を、昨年度立ち上がった企画委員会と共に携わり、進めてまいります。恒例のボランティア清掃では作成した史跡マップを活用し、歴史ある地域を大人も子どもも一緒に学びます。

テーマ

グリーン大作戦 —学校をみどりに ころを豊かに—

目標

豊かなころを育て、共に支え合い、共に生きる学校づくり

今年度の取組紹介

美しい「みどり」あふれる学校を創るとともに、豊かなころを育て、共に支え合いお互いをた
いせつにできる生徒を育てるため、なかまから学ぶことはもちろんのこと、地域の方々とさまざ
まな場面で交流を深め、生き方をはじめ、多くのことを学ぶ機会を生み出すことを目的としています。

○プロジェクト「ひまわり」「チューリップ」「さつまいも」「K（カボチャ）」を実施。

特にプロジェクト「さつまいも」「K」については、地域の方々をはじめ、保護者の協力が大き
く、収穫したさつまいもやカボチャを調理し生徒たちと昼食時に食するという取り組みにまで進
展しました。

○校区ボランティア清掃

1・2年生を中心にボランティアを募り、地域の方々の協力や見守りを得ながら校区内を清掃。
清掃後に地域本部室で生徒と地域の方々との交流会を実施。
楽しく率直な感想や取り組みへの意見交換がされました。

○福祉体験学習

車いす体験や点字学習などに地域の方々によるボランティア
協力隊を組織していただき学習支援とともに見守っていただき
ました。



福祉体験学習ボランティア

○第5回京中オープンスクール

「学ぼう地域の方々から・考えよう生き方」をテーマに地域
の方々を中心にゲストティーチャーを招き、25講座を開講
しました。

また、午後の部では、車いすダンサーの奈佐誠司さんに、
「ダンスで心のバリアフリーを！」をテーマに熱く、踊り語
っていただきました。



授業「料理のサイエンス～食の未来～」

今年度のまとめ

学校が地域の拠点として、位置づけられ日常的に地域の方々に来校していただいている状況が生ま
れてきました。生徒にとってそのことが当たり前のことで、一つの楽しみであるとともに地域の方々
から学ぶ機会であるという自覚が芽生えてきました。

来年度に向けて

一層、日常的な取り組みを支援していただけるようにボランティアの裾野をひろげるとともに、教職
員全体の理解・コーディネーターの活躍の場を広げることに重点をおいて取り組んでいきます。

テーマ

「心豊かな六条っ子」

目標

未来を見据え、今を心豊かに生きる子どもを目指す

今年度の取組紹介

六条小学校の教育目標「夢をもち心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を目指し教育活動を進めてきました。そして、地域で決める学校予算事業では心豊かな子どもの育成に向け、「本が大好き六条っ子」「生きもの大好き六条っ子」をテーマとして事業を推進してきました。

「生き物が大好きな子ども」をたくさん育てる取組として、獣医さんの話を聞いて「動物」のことを詳しく知る講演会を持ちました。飼育委員会では日常の動物の世話の仕方や病気の見つけ方を教わり、1年生は動物と接することで命の尊さを実感することができました。

地域在住の植物に精通する方を招聘し、4年生に身近な「植物」のことを楽しく教えていただきました。今まで見過ごしていた植物に対し強く関心を寄せるようになりました。他にも地域の花屋さんにはパンジーの植え付けを栽培委員会とボランティアの方々が教わりました。全校児童がパンジーの植え付けをするときは、ボランティアの方々が手伝っていただきました。

「本が大好き六条っ子」を育てようと、図書ボランティアと読み聞かせボランティアを募りました。図書ボランティアは、児童の

「本が読みたい」「本を大切にする」気持ちを育むために図書委員会の児童と一緒にブックカバーを付けていただきました。読み聞かせボランティアは1ヶ月に1度、朝学習の時間を利用して10クラスで読み聞かせをしていただきました。どのクラスの子も達も、とても楽しくお話の世界に引き込まれていました。



今年度のまとめ

ボランティアの支援を得て、全校児童が読書に親しみ、花の苗植えを体験し、心豊かに生きる子ども像に迫ることができました。さらに、地域の力を、専門性を必要とする委員会活動に発揮していただきました。獣医の先生方や植物を教えてください先生、読み聞かせのボランティアの方々はすでに六条小の子ども達に長年関わってくださり、「生きものが好き」「読書が好き」と感じる六条っ子が脈々と育まれています。

来年度に向けて

読み聞かせボランティアの方々は講師を招いて読み聞かせの研修をするなど、今まで以上に進んで活動していただきました。ボランティアと学校の連携を密にし、本が大好きな子どもの育成に努めていきたいと思います。現在、「図書」と「生きもの」を重点にボランティア活動をしていただいています。今後、地域の力をさらに広い分野に広げ活動していただき、子ども達への力となっていただきたいと思います。そのため、「地域とふれ合う。学び合う。」を念頭におき、事業を展開していきます。

テーマ

祝 30 周年 さらに翔こう 伏見南の子どもたち

目標

本校の歴史を受け止めて、「人」「地域」とのかかわりを大切にしながら、「楽しく 仲よく たくましく」学校生活を送る子どもを育てる。

今年度の取組紹介

創立 30 周年を迎えるにあたって、地域・PTA が中心になり平成 24 年度に創立 30 周年記念事業準備委員会、平成 25 年度には同じく実行委員会が組織されました。

歴史を重んじる地域の方々は、節目を大切にした行事として記念植樹会・記念式典の開催を切望されるとともに、華やかなバルーンリリースの実施も望まれたため、その意向を尊重しながら創立 30 周年記念事業について企画・運営をすすめていきました。

従来「歌声集会」をベースにした「創立記念のつどい」では、「改めてリサーチした校歌の由来を知って伏見南をますます好きになった。」という子どもたちの声があり、教育長を来賓としてお迎えした「記念式典」では、「厳かな雰囲気の中にも子どもたちの晴れやかな表情に心が和んだ。」「先生方の熱心な指導の過程がうかがえた。」という地域の方や保護者からの声がありました。

また、記念冊子を発行することによりこの 10 年間の本校のあゆみを記録し振り返るとともに、本校の特色ある教育活動について保護者・地域に発信することができました。



記念事業実行委員会



創立記念のつどい

今年度のまとめ

創立 30 周年を契機として、本校の歴史と本校教育のよさについて振り返るとともに、

○次世代を生き抜く子どもたちを育てる思いを新たにする。

○本校において従来から備わっている「家庭力」「地域力」を活用し、学校、地域、保護者の連携をより確かなものにする。

ことができました。

安定した地域力を踏まえ「伏見南」のよさを体感しつつ、グローバル社会に対応していける子どもの育成を視野に入れた教育の推進を新たなサイクルを迎える本校教育の指針とすることができました。

来年度に向けて

開校以来、実施してきている地域との協力的行事（ふれあいの日・しめ縄づくり・とんどのつどい）について運営内容を見直すとともに今後も継続していくための人材強化が課題となります。また、新規事業開発とともに、積極的なボランティアの受け入れについても検討していきます。

また、老朽化がすすむ施設・設備の教育環境改善への取組も継続の必要があります。

テーマ

豊かな体験が広がる環境の工夫

目標

試したり工夫したり挑戦したりする感動体験を豊かにする

今年度の取組紹介

◎みんなの畑整備事業

継続して菜の花プロジェクトを行ってきましたが、栽培する場が狭く、子どもたちが世話をしにくい場があったため、地域や保護者のボランティアと一緒にブロックや土を運び、いつでも子どもたちから見やすい場に“みんなの畑”を作る。地域の方や保護者と共に畑作りをし、鍬を使って畑を耕す、畝を作るなど、今まで経験したことがないことを実体験しました。ボランティアの方がやさしく子どもたちにかかわってくださり、地域の方の温かさに触れる機会となりました。また“みんなの畑”を作ったことで、身近に菜の花を目にすることができ、豊かな感動体験が、より意欲的に取り組む姿につながりました。



今年度のまとめ

- ・菜の花プロジェクトは、六条らしい取組であると保護者から高い評価を得ました。今年度は、唐招提寺へも菜の花の油を奉納することができ、保護者も共に、地域の良さを感じる機会となっています。
- ・みんなの畑作りは何度も、地域のボランティアの方が来てくださり、子どもたちは、自分たちから挨拶をしたり、「〇〇さん」と名前を呼んで「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え、人とかかわる楽しさを味わっています。
- ・子どもたちの身近に菜の花があることで「芽が出てる」「大きくなった」と気付いたことを友達と話し合ったり、「来年も菜の花の油を届けたい」と意欲を高めたりしています。
- ・子どもたちの体験が豊かになることで、試したり工夫したり、挑戦したりする意欲が育ち、夢中になって遊び込む力が育まれていきました。
- ・子どもの感動がタイムリーに保護者に伝わるように、掲示板に写真の貼りだしをしたり「六条ニュース」を地域に回覧したりすることで、園の取組を発信することができました。

来年度に向けて

- ・地域の良さ、より六条らしさを生かした事業（人材や文化史跡、伝統工芸など）を行い、地域の方とのかかわりを深めていきたいと考えています。

テーマ

いきいき輝け！笑顔いっぱい

目標

**地域の方など、いろいろな人やものとのかかわりを通して、
心豊かでいきいきと活動する幼児を育てる****今年度の取組紹介**

近年の核家族化、少子化による生活様式の変化や社会的モラルの低下などから、幼児は入園するまで家庭内で過ごすことが多く、園児・保護者とも人とのかかわり方が希薄化しています。そこで、地域の方や近隣校と交流して、温かな心にふれ、思いやりの気持ちや人とながら喜びを味わうことで感動体験を積み重ね、心豊かでいきいきと活動できるよう計画を立て実施してきました。本年度は、創立30周年を記念して地域の方を招いて行う取り組みを実施してきました。また、小学校と合同の式典や行事も織り交ぜ、地域の人々とかかわる機会が多く、つながりを感じるきっかけにもなりました。継続して行ってきた園行事のお話ひろばでは、発達の時期に応じた絵本や紙芝居を読んでいただき、三学期になると、素話で語ってくださるお話に子どもたちはじっくり耳を傾け話に聞き入る姿が見られました。また、昔遊びひろばでは、手遊びやお手玉をして一緒にふれ合って遊んできました。教えていただいたことを普段の遊びの場でも繰り返し挑戦し、できるようになる喜びを味わうことができました。体験したことが幼児の心に残り、次回を楽しみに待つ姿につながっています。民生委員の方ともちつきを経験し期間を開けず、お正月遊びの交流を実施したことで、「おもちつきのおじさんや」などと子どもたちから自然に声をかけ「教えて」とかかわる姿が見られました。地域の方の優しさを心地よく感じながら、心を開いて嬉しそうに遊ぶ子どもたちの表情が伺えました。保育園と年3回交流を実施し、遊びを通してかかわりを深めていけるように進めてきました。小学校との連携としてわくわく伏見会や一日体験入学などを通して一緒にかかわることで、憧れの気持ちや就学への期待が高まりました。中学生との交流のふれあい音楽会や職場体験では、少し歳の離れたお姉さんたちに演奏を聞かせてもらったり一緒に遊んだりすることで身近に感じ親しみをもって会話が弾んだりする姿が見られました。この他に未就園児とのかかわりなど、様々な人と交流を深めながら子どもたちは心豊かにいきいきと活動することができました。

**今年度のまとめ**

様々な人とのふれ合う経験を積み重ねてきたことで、親しみをもってかかわり、共に過ごす楽しさや喜びを味わうことができました。また、身近な人々の温かさや優しさを感じ、感謝の気持ちをもって意欲的に活動する姿が見られました。幼児は、回を重ねて顔見知りになったり、感動体験を共に味わったりすることで、人とのつながりを感じるようになることがわかりました。

来年度に向けて

子どもたちが心豊かに成長するように来園者や近隣校と園計画を話し合い、人的・物的環境を整え、地域とのつながりをさらに深めていきたいと考えています。